
履修をはじめるとにあって

みなさんはこれから、学則や履修規則に定められた、卒業又は資格取得に必要な科目や単位を確認し、卒業するまでの履修計画を立て、1～4年次の学期ごとに履修する科目を決定しなければなりません。

この『履修のてびき』には、みなさんが履修計画を立てるために必要な情報を掲載しています。

各学期始めに実施される学科のガイダンス等に必ず出席し、クラス担任の先生と相談しながら、自らの責任のもとに自分の履修計画を立てて学業に励んでください。

1. 履修計画を立てるにあたって

大学では、卒業又は資格取得に必要な履修科目と単位数が定められています。みなさんは、高校までのように決められた授業科目を履修するのではなく、一定の範囲内で履修する科目を自身で選択することができます。

本学では、1年次から教養科目だけでなく、学部・学科の専門科目のいくつかを選択できるようになっています。また、多くの科目は半年で完結する構成となっていて、どの学年であっても多様な科目が履修できるよう配慮されています。

卒業に必要な単位数は、各学部・学科ともに124単位ですが、卒業に必要な単位の修得に十分努めたうえで、さらに自分のめざす資格の取得にチャレンジすることも可能です。こうした仕組みを理解したうえで、自身の目標や興味・関心に基づいて、将来をしっかりと見通しながら、履修計画を立ててください。

なお、単位の修得については、ガイダンスでの説明をよく聞くとともに、クラス担任をはじめとする学科の先生にも相談してください。そのうえで、在学4年間という時間を有効に活用できるような履修計画をしっかりと立ててください。不明な点はそのままにせず、遠慮なくクラス担任や学科の先生、学生相談室、事務局教務課（以下「教務課」）に相談してください。

2. 基本的な生活習慣の確立

大学での生活は、これまでの学校生活と比較して自由度や選択の幅が広がります。服装の自由など一般生活の面を数えれば限りがありません。それに加え、学習面においては、選択できる科目が多いこと、自由時間を利用して自分なりの学習や研究によって自己実現の道が開かれていることなどがあります。これは大学が学生一人ひとりを自立した人格として認めているからです。

しかし、自由だからといって基本的な生活のマナーを守ることを忘れないでください。勝手気ままなことをしたり、規則や約束を破ったり、他人に迷惑をかけるようなことをしたりすると、たちまち大学は、楽しい学問と自由な生活の場ではなくなります。また、教育・学習・研究等を妨害する行為は、学則により懲戒処分の対象になります。

自由で自主的な生活、楽しい学園生活を謳歌し、学習や研究を充実させて自己実現を目指すためには、みなさんが常識のある人間であるとともに、次の4つのことを心がけてください。

① 登下校の際に必ず掲示板を見ること。

大学では、みなさんへの連絡はすべて、掲示によって行います。

掲示板は、学生生活関係、各学科関係、就職関係、そして教務関係などに分かれており、これが連絡や情報伝達の重要な場となります。例えば休講・補講などの授業に関する連絡は教務関係の掲示板です。「掲示を見なかったから」

と弁解してもそれは通用しません。大学はみなさんが掲示を見たものとして授業や行事を進めて行かなければ、日常のスムーズな運営が滞ってしまうからです。したがって、大学へ来たらまず1回、帰るときにもう1回、必ず掲示板を見る習慣を身に付けてください。

また、みなさんの便宜を図るために、掲示板での情報の主要な事項、伝達事項などについてはホームページにも掲載する場合があります。

② 約束を守ること。

卒業に必要な単位は学則で定められています。1単位不足しても卒業することはできません。この大事な単位を修得するためには、出席回数、試験に合格すること、レポートの提出などいろいろな約束事があります。提出物は期限までに出不ないと受理されず、単位が修得できないなど大きな代償を払うこととなります。「忘れていた」「知らなかった」「なんとかなるだろう」は通用しません。

約束を守るためには、約束事(規則)の情報をたえず確認するとともに、掲示板を見る必要があります。分からないことはそのままにせず、わかるまで何度も確認してください。確認の仕方がわからない場合は、クラス担任の先生や教務課に相談しましょう。

③ 届け出はすみやかに。

大学生活の中では、いろいろな「届け出」が必要です。例えば学籍に関すること、授業の公認欠席届、追・再試験受験願、資格取得に関する手続き、留学の手続きなど、いろいろあります。これらの届け出は、受付時間と期限に余裕をもって行ってください。受付時間や期限にわずかでも遅れてしまうと、手続きができないなど大きな代償を払うこととなります。常に「届け出」は速やかに提出することを心がけてください。

特に、学外実習など外部機関と関係の深い事柄については、相手先との連絡に相当の時間を要することもあります。何事も、受付時間や期限ぎりぎりの行動はやめて、「5分前の精神」すなわち「いつも時間に余裕をもって」行動しましょう。

④ 大切な提出書類は写しを取って、必要な控えは受け取って保管するように。

大学生活においては、重要な書類には必ず控えが渡されます。また、授業で提出するレポートや外部の機関から受け取った重要書類などは写しを取って各自で保管するように心がけてください。

3. 学年とセメスター制

本学では、一つの学年を前期と後期に分け、学期(セメスター)ごとに単位を修得し、8セメスター(4年間)を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。

また、授業科目については、履修上「年次」を用いて配当しています。

「年次」は、単純に入学年度からの年数をカウントし、休学期間や修得単位数を考慮しません。これらの関係を図に示すと次のようになります。



※ 休学等により在学しない期間は、年次は進みますがセメスターは進みません。
その年次に単位を修得しなければ上級年次に進級できないということはありません。